

ここでは、イタリアを代表する現代彫刻家の1人であるルチャーノ・ミングッツィー（1911-2004）の作品を紹介します。初期には彫刻を絵画的に表現したアルトゥーロ・マルティーニ（1889-1947）から強い影響を受け、柔軟な身のこなしを見せる曲芸師や遊ぶ子供たちなど、具象的な作品を制作していましたが、その後、次第に半抽象的な作風へと変わっていきます。1950年代には極端な変形・形の単純化が見られるようになり、より劇的な表現のスタイルへと発展するとともに、強制収容所やガス室等、戦争に関連したテーマに取り組みました。これはミングッツィー自身が武器を取り、権力や占領軍に抵抗した第二次世界大戦の体験によるものです。

彫刻作品「二人の像」では、2人の頭部や腕などが大胆に省略され、座る人物には、あらゆる外敵から愛する者を守ろうとする空気が漂っています。ミングッツィーは表現しようとする対象から様々な要素をそぎ落とすことで、その内部にある真の姿を表そうとしました。作品をとおして、私たちに人間の愛と優しさを語りかけているかのようです。

■展示作品リスト

No. 作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	技法
1 ルチャーノ・ミングッツィー	1911～2004	二人の像	1950	146.2×95.4×68.3	彫刻
2 ルチャーノ・ミングッツィー	1911～2004	二人の像	1989	146.2×70.8	素描、コラージュ
3 ルチャーノ・ミングッツィー	1911～2004	赤の人物	1975	69.6×51.7	素描